

令和7年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立宮田小学校

＜本年度の重点目標＞

なりたい自分を目指し、進んで行動する子供の育成

前年度の課題	＜学力の向上＞ 1 各教室に発達段階に応じた「宮田っ子話す名人、聞く名人5箇条」を掲示し、授業の折に触れ、自分の話し方、聞き方について振り返ったり、意識している友達を認め合ったりする場を設けることで、話す力・聞く力の向上につながった。また、「話す・聞くタイム」では、どの児童にも話したくなる状況をつくることで、「話す・聞く姿勢」を意識する機会が増えたという成果がみられた。今後も、話す力・聞く力を高めたり、そのような機会を設けたりすることで、対話的に学習を深められる子供の育成に努める。 ＜豊かな心＞ 1 気持ちのよい挨拶を行う子供が増えた。子供の明るい挨拶は学校や地域の元気に繋がる。今後も相手意識をもった気持ちのよい挨拶ができるようにする。 2 「ほかほか言葉」を理解し、積極的に使おうとする姿がみられた。今後も、適切な言葉遣いを意識することで温かい人間関係を築けるようにする。また、校内の縦割り活動を活性化し、自己有用感を高めるとともに、学級や学校のために働こうとする子供の育成に努める。	
具体的な達成目標 (数値目標)	＜学力の向上＞ 1 視点を基に、相手意識・目的意識をもって話したり聞いたりする子供を85%以上にする。	＜豊かな心＞ 1 学級や学校のために進んで行動する子供を85%以上にする。 2 相手の気持ちを考えて行動したり発表したりする子供を80%以上にする。
行動Ⅰ (方策)	1 発達段階に応じた「宮田っ子話す名人、聞き名人」の視点を提示し、授業の折に触れ、自分の話し方、聞き方について振り返るようにする。 2 全校で「話す・聞くタイム」を設定したり、学級で話したり聞いたりする場を設けたりする。	1 「チョボラ」の時間を設け、進んで行動する機会をつくる。また、やった内容を共有する場を設け、より高めていけるようにする。 2 ほかほかしたエピソードを放送で伝えたり、掲示したりしてみんなに広まるようにする。